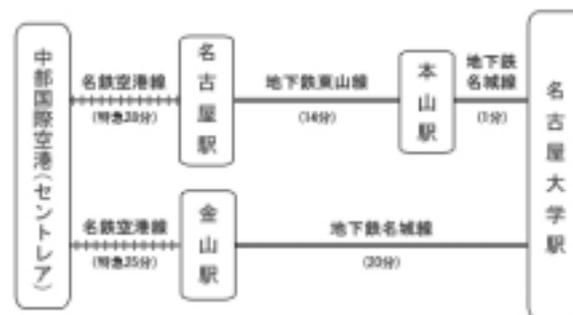


スタッフ

- センター長 戸田山 和久**
専門領域: 科学技術社会論
電話: 052-789-5694, 4874
メール: todayama@cshe.nagoya-u.ac.jp
- 教授 夏目 達也**
専門領域: 高等教育学、技術・職業教育論
電話: 052-789-5693
メール: natsume@cshe.nagoya-u.ac.jp
- 助教授 近田 政博**
専門領域: 比較高等教育学、初年次教育
電話: 052-789-5692
メール: chikada@cshe.nagoya-u.ac.jp
- 助教授 中井 俊樹**
専門領域: 大学教授法、高等教育マネジメント
電話: 052-789-5385
メール: nakai@cshe.nagoya-u.ac.jp
- 助教授 鳥居 朋子**
専門領域: 高等教育カリキュラム論、教育経営学
電話: 052-789-5691
メール: torii@cshe.nagoya-u.ac.jp
- 助手 齋藤 芳子**
専門領域: 科学技術政策、科学技術社会論
電話: 052-789-5384
メール: saitoh@cshe.nagoya-u.ac.jp
- 専門職員 井上 和美**
電話: 052-789-5696
メール: inoue.kazumi@post.jimu.nagoya-u.ac.jp
- 客員教授 クリスティン・ハルス** 西シドニー大学准教授
(2006年4月～2006年9月)
- 客員教授 ジェラルド・フライ** ミネソタ大学教授
(2006年10月～2007年3月)
- 客員教授 馬越 徹**
桜美林大学教授
- 客員教授 小笠原 正明**
東京農工大学教授
- 客員教授 吉田 文**
(独)メディア教育開発センター教授

名古屋大学 高等教育研究センター

Center for the Studies of Higher Education, Nagoya University



地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口徒歩1分
名古屋大学東山キャンパス 文系総合館5階

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
電話 052-789-5696
FAX 052-789-5695
<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/>
info@cshe.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学 高等教育研究センター

2006-2007

CENTER FOR THE
STUDIES OF
HIGHER
EDUCATION

NAGOYA UNIVERSITY



本センターは「国際的な視野のもとに高等教育研究機関の戦略的課題の解決に貢献する」をミッションとして、1998年4月に設置されました。

高等教育に関する専門的・実践的研究をもとに、各種資料刊行・ツール開発等による教育改善支援
名古屋大学における教育の企画・立案への支援
世界的文脈からの教育改革に資する知見の提供
などを行っています。これらにより、高等教育の質の向上に取り組み、高等教育研究の一大拠点となることを目指しています。

研究領域

教授法開発・授業支援
初年次教育・学習支援
カリキュラム開発
FDプログラム開発

教育改善支援の活動

学内をはじめとする大学教育の質の向上を目指して、各種活動を行っています。

学内の教育改善支援
学内教育の企画立案評価等の支援
各種セミナー・講演会の実施
出版物やWEBによる研究成果・情報の発信
本学教員に対する授業の悩み相談、メンター紹介
授業見学会、シラバス博覧会の実施

定期刊行物

『名古屋高等教育研究』第1号-第6号

年1回発行の査読付き学術誌。世界のスタンダードを意識しながら名古屋大学コミュニティに貢献するという方針を掲げています。

『かわらばん』

年4回発行する新聞形式のニュースレター。大学教育に関するオピニオン、最新情報などを掲載しています。名古屋大学の教職員全員に配布しています。

進行中の研究開発プロジェクト(H18年度)

教員の自発的な授業改善の促進・支援

本取組は、教員の自発的な授業改善の促進・支援を目的に、授業改善の方法論を開発し、その具体的な実践手段を“ティップス先生”に託すなどして個々の教員に提供するものです。

教授法開発・授業支援

大学教授法研究に基づき、教育効果の高い教授法と授業支援の方法を開発しています。学内外における優れた授業の調査を通じて収集した教育実践例をデータベース化し、それらを整理し簡潔な表現にまとめて教育現場に還元することを目指しています。

初年次教育・学習支援

『名古屋大学新入生のためのスタディティップス』を新入生全員に配布し、このティップスの感想・改善点に関するアンケートを実施しています。結果を次年度への改訂に活用していきます。

カリキュラム開発

大学におけるカリキュラムマネジメントのサイクル(企画立案 - 実施 - 評価 - 次期計画へのフィードバック)を視野に入れながら、コースおよびカリキュラム開発の実践的な手法を研究しています。こうした基礎的研究の蓄積をふまえ、学部や研究科等の組織レベルにおけるカリキュラム開発の取り組みを支援するため、コースおよびカリキュラムの設計や評価に役立つツールの開発・提供に努めています。

FDプログラム開発

授業改善に必要な基礎的な知識・ノウハウを無理なく学べるFDプログラムを開発しています。シラバス設計法、成績評価の方法、大学教授法の基礎などのプログラムをすでに開発し、参加を呼びかけています。教員向けのほか、大学教員志望の大学院生も対象にしています。

特色G P 本センターを中心に進めてきた全学的取組「教員の自発的な授業改善の促進・支援・授業支援ツールを活用した授業デザイン力の形成」が、2004年度に文部科学省の特色ある大学教育支援プログラム(特色G P)に採択されました。

これまでの主な成果

成果物は当センターのWEBサイトにてご覧いただけます。

『成長するティップス先生』

本センターが開発したティーチングティップス(授業の秘訣集)です。本学の教師が日常の教育活動の中で出会う悩みの解決をサポートすべく、当センターではティップスの開発に力を注いできました。オンライン版と書籍版があります。

『ティップス先生からの7つの提案』

名古屋大学の学生・教員・大学組織がよりよい教育を実現するための提案と具体的なアイデアをまとめたものです。これまで、教員編、大学編、学生編の三冊子を開発しました。手軽な冊子なのでFD教材として利用されています。

『名古屋大学新入生のためのスタディティップス』

新入生のための学びのノウハウ集を制作しました。第1号「『学識ある市民』をめざして - 』では大学で学ぶことの意味を説明しました。第2号「自発的に学ぼう」では具体的な学習方法を紹介しました。教員や先輩学生からのアドバイスも随所に盛り込みました。

『大学における教養教育カリキュラムの比較研究』

本学とミッションや組織構成が類似している国内外の研究総合大学を中心に、教養教育カリキュラムの内容構造および開発方法に関する比較研究を行いました。研究結果に基づき、とくに本学における教養教育カリキュラムの質的改善に向けた包括的提言を行いました。

『特色G Pシリーズ』

特色G P「教員の自発的な授業改善の促進・支援」プロジェクトの報告書です。現在、次の4巻を刊行。

実践的教授法の開発を目指して

第1回ランチャイムFDの記録

『ティップス先生からの7つの提案』の開発

大学院生のための大学教員準備プログラムの開発

『外部評価報告書』

センターの創設から2001年度までの活動がレビューされています。